

■グリーン経営とは

グリーン経営とは、「環境に配慮した経営」であり、企業の社会的責任として、環境問題にも経営の一つとして積極的に取り組んでいくことです。

■グリーン経営の位置付け

グリーン経営とは、ISO14001（環境マネジメントシステムに関する国際規格）認証の取得が難しい事業者にも、容易に環境保全を進めて頂くためのものです。

■グリーン経営認証制度とは

本認証制度は、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団が認証機関となり、グリーン経営推進マニュアルに基づいて一定のレベル以上の取り組みを行っている事業者に対して、審査の上認証・登録を行うものです。

■グリーン経営認証制度の狙い

本認証制度は、マニュアルに基づく事業者の環境改善の努力を客観的に証明し公表することにより、取り組み意欲の向上を図り、あわせて認証事業者に対する社会あるいは利用者の理解と協力を得て、運送業界における環境負荷の低減につなげていくものです。

■認証制度の評価

グリーン経営認証は運輸部門における実効性のある環境対策として国にも評価され、政府の政策にも取り上げられています。

①国土交通省環境行動計画

国土交通省では、平成20年7月に「環境行動計画2008」を策定し、環境貢献型経営（グリーン経営）を促進することとしています。

②「改定京都議定書目標達成計画」（平成20年3月28日閣議決定）

燃費の向上など一定の優れた環境取組を実施している運輸事業者を認定する「グリーン経営認証制度」については、認定事業者の平均燃費の向上に貢献してきており、今後更なる普及を促進することとしています。

③改正省エネルギー法に基づく告示で求める荷主の配慮事項

荷主が物流での省エネを進めるための配慮事項として「環境に配慮している貨物輸送事業者（ISO14001やグリーン経営認証を取得した貨物輸送事業者をいう。）を選定する」ことが明記されています。

④グリーン購入法の特定調達品目に輸配送、貸切バス、タクシーが追加

グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）の特定調達品目として「輸配送」「貸切バス」「タクシー」が追加されています。グリーン経営認証取得事業者がこれに該当しています。



グリーン経営認証

登録事業者の声

（取得理由、メリット、成果等）

グリーン経営認証登録された事業者の方々にお話をうかがいました。*



グリーン経営認証制度による登録事業者6社の皆様にお集まりいただき「取得のきっかけ、取得の効果」などをお話いただきました。

グリーン経営認証を取得している事業者の方々が、様々な効果を得ておられる現状をご理解いただき、これから取得する事業者の方々に、お役に立てていただけるよう本冊子を発行いたしました。

ご出席者 (五十音順)

- | | |
|---|--|
| ●タクシー/
飛鳥交通千葉株式会社
取締役営業部長 池上 和成 様 | ●トラック・倉庫/
丸天運送株式会社
取締役総務部長 田中 智之 様 |
| ●倉庫/
全農グリーンリソース株式会社
CSR 室長 磯村 隆 様 | ●トラック/
株式会社ハーツ
代表取締役 山口 裕詮 様 |
| ●バス/
東京滋賀交通株式会社
常務取締役 珠久 幸男 様 | ●トラック/
結城運輸倉庫株式会社
経営企画部部长 結城 賢進 様 |

*グリーン経営認証座談会：平成23年2月8日（火）実施

認証取得のきっかけを語っていただきました



環境問題への取組が 経営課題として全社員に認識

会社全体として環境の課題に取り組み始めたのは平成17年頃からです。全社員が組織的に環境問題への対策に取り組むことが経営課題として認識されるようになってきました。

具体的でわかりやすく、すべての現場で取り組める 社員がなじみやすいグリーン経営認証制度

既に取得しているISOの取組みを活用していただけること、明確でわかりやすく全職場で具体的に取組んでいけること、燃料コスト削減メリットなどを評価し、経営課題への対応策としてグリーン経営認証を選びました。

環境にやさしい街づくりに貢献したいという 経営トップの強い思いから バス部門ではじめ、タクシー部門も取得

取得のきっかけは社長の判断によるものです。エコドライブに高い関心を持っていて、全社でこの認証を受けるようにと指示がありました。バス部門としては東京が一番早く平成18年に、その後京都、大阪、滋賀で認証を取得しました。タクシー部門では現在7社が導入しています。

環境問題への対応は避けて通れない課題 環境活動推進の手段として エコドライブによる経済効果も期待

これまでも各事業所での環境問題への取組みを奨励してきましたが、なかなか普及が進みませんでした。グリーン経営認証の情報を受け、環境活動を推進する手段として取り組むこととしました。エコドライブを推進することにより大きな経済効果を期待できることも知り、全社的な推進を決めました。

安全からさらに一歩進んだ取組みとして環境を エコドライブの意識が浸透

荷主さんからの厳しい安全要請をきっかけとして、さらに一歩進んだ取組みを取り入れようと平成18年に認証を取得しました。認証がきっかけとなり、エコドライブの取組みが社内さらに浸透していきました。

燃料費削減効果を期待 事前に従業員への環境教育を進める

取得の頃、軽油の値段が大きく変動していた時期でもあり、経費削減という経営効果への期待もありました。準備期間に1年半をかけ、従業員への環境教育を進めて取得に取り組みました。

自社ブランド事業の確立に向け、安全・環境・ コンプライアンスへの対応強化の必要性 エンドユーザーにアピール

私たちの業種は、排ガスを出すことで商いをさせていただいているので、環境にはより一層熱心に取り組まねばという想いと、「レントラ定期便」(レンタルトラック)という自社ブランド事業を展開するにあたり、直接エンドユーザーと接する機会も多くなるので、安全や環境、コンプライアンスへの対応強化の必要性を感じ、取得を決めました。

会社の経営理念としての社会貢献の一環 グリーン経営は自社のレベルに合った取組み 運送だけでなく倉庫事業でも取得

グループには、3社300人ほどの従業員と100台ほどの車両を保有しています。会社の経営理念として、少しでも社会に貢献したいという想いがあり、グリーン経営認証は私どもの事業のレベルに合った取組みと判断して取得を決めました。

●全農グリーンソース株式会社

磯村 隆



●東京滋賀交通株式会社

珠久 氏



●飛鳥交通千葉株式会社

池上 氏



●結城運輸倉庫株式会社

結城 氏



●株式会社ハーツ

山口 氏



●丸天運送株式会社

田中 氏





認証取得 によって

どんな変化・メリットがありましたか —1

5年で14%の燃費向上 エコドライブによる経済効果は絶大

燃費の向上です。キックオフした2004年を基準年としますと、5年後には14%もの向上成果が表れました。当社は年間3億5千万円程燃料費がありますが、燃料高騰により価格が1円あがると300万円の影響がでる計算となり、エコドライブの導入による経済効果は大きいです。経営面では、社債の金利が良くなるというメリットもありました。

管理者とのコミュニケーションが円滑に 会社組織全体にも好影響が

点検整備に対する取組みが一層強化され、管理者とのコミュニケーションが円滑になるという効果も出ています。
更にドライバーの中にリーダー格の人物が現れ、全体を牽引する存在となり、会社組織全体にもいい影響が出てきています。認証の取得とその運営にあたり書類管理など事務所側の対応も良くなりました。



●結城運輸倉庫株式会社
結城氏

EMS導入で17%燃費向上 認証取得でさらに9%向上

EMS(エコドライブ管理システム)を導入しておりましたので既に17%程燃費が向上していましたが、グリーン経営認証取得後さらに9%程向上、現在も向上中で燃料費の面での効果は大きいと思います。

現在も従業員 の意識は向上中 継続による認 証の成果を実感

普段から従業員に環境への意識を持つよう訴えていますが、グリーン経営認証を取得し継続して取り組むことによってその意識が上ってきていると実感しています。



●株式会社ハーツ
山口氏

燃費効果に加え中間管理職の意識 変革

自発的に提案し行動する社員が 現れるようになった

燃費の効果も確認されていますが、一番大きな成果は社員の意識の変化だと思っています。各営業所でリーダーを決めて、プラン、実施、チェックを推奨してきたことが中間管理職の意識変革につながり、自発的に提案し行動する社員も現れるようになりました。

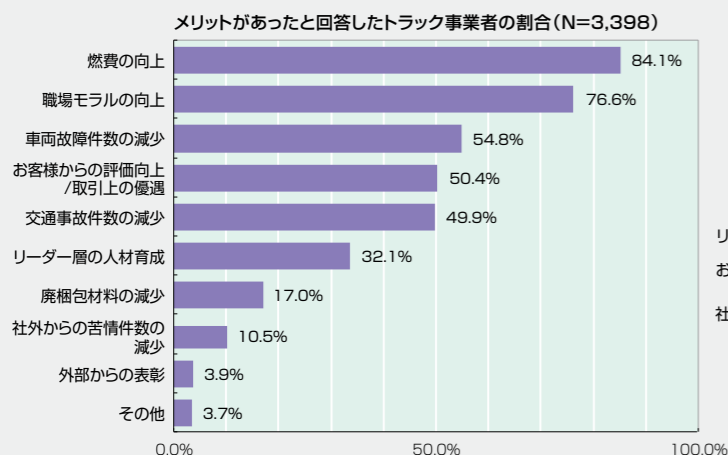


●丸天運送株式会社
田中氏

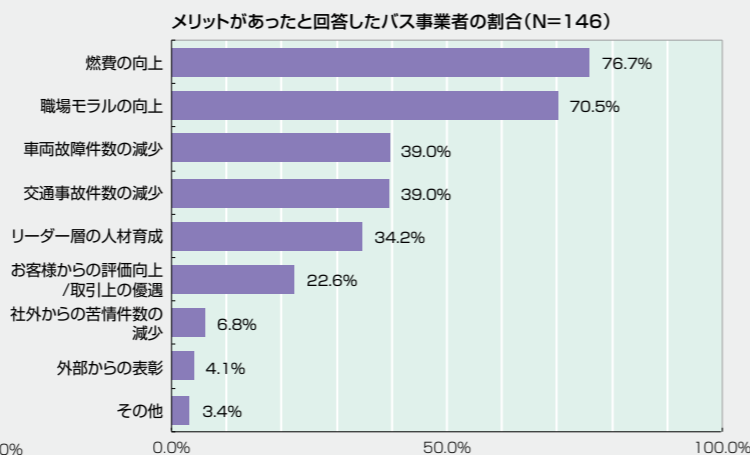
認証取得事業者が受けた効果とメリット

●認証取得事業者に対するアンケート結果から、認証取得事業者はいろいろなメリットを感じていることがわかりました。

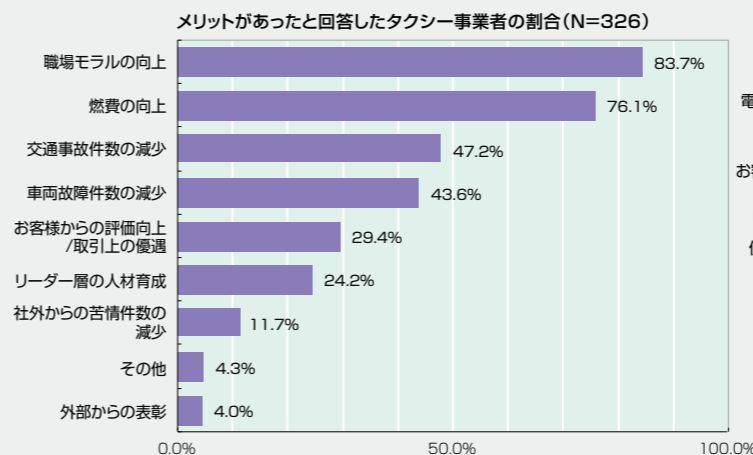
トラック事業者



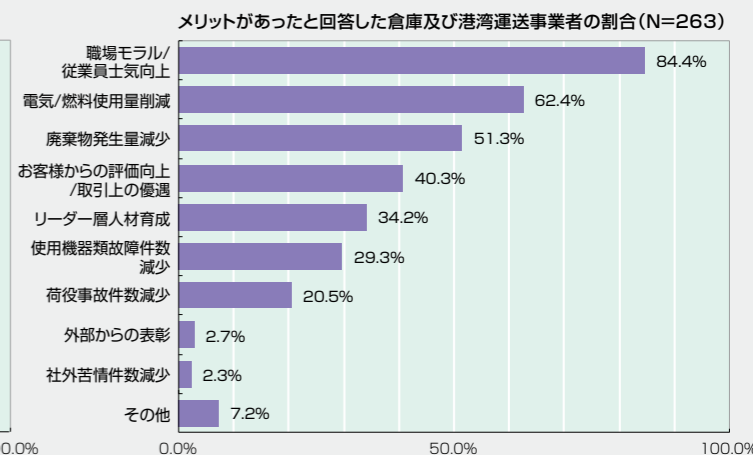
バス事業者



タクシー事業者



倉庫・港湾運送事業者



認証取得によって

どんな変化・メリットがありましたか —2



電力使用量、燃料使用量の大幅削減 目に見える数値として表れる

数値的な効果としては、取得を決めた平成17年度を基準年度として平成21年度までの数値を見比べた場合、電気使用量が172万kwから72万kwに、燃料使用量が17万7千リットルから13万2千リットルに、その結果事業所全体のCO₂排出量が1075トンから725トンと32%の削減率を記録しました。

環境への取組みが業務改善効果に 取組み全体が高評価

その他には社員の環境意識の向上、社内表彰制度による評価やステークホルダーへの環境、コンプライアンス面の報告への表れなど、グリーン経営の取組み全体が評価されています。



●全農グリーンリソース株式会社
磯村氏

●東京滋賀交通株式会社
珠久氏



経費削減、仕事の効率化、事故防止など 具体的に効果が表れる

導入後のメリットとしては経費の削減、仕事の効率化、生産性の向上、事故防止などが上げられると思います。改善の度合いにより1万円から10万円のに取組みが浸透するようになりました。

エコドライブ以外の改善も奨励 認証取得が旅行代理店から評価

エコドライブの推進だけでなく、洗車の際の水道使用量や車内に残されるゴミ対応の改善などさまざまな面での心がけを奨励しています。また、認証取得したことが旅行代理店から評価され、実際の受注につながるといった成果にも結びついています。

全従業員の意識がひとつに 営業所ごとの目標を明確に設定

一番良かったと思うのは、全従業員の意識が一つになったということです。キックオフの時点では反発もありましたが、継続することにより、環境問題に取り組むのはいいことだという認識が社内の常識になってきたと感じています。

燃費向上、事故経費の削減 お客様とのコミュニケーションも円滑に

事故経費が減ったということもメリットの一つです。エコドライブに取り組むことで稼働台数当たりの事故指数が低減し、事故全体の経費も減少しました。認証取得事業者としてのメリットを活かすべく、現在は役所などの公共機関への営業に積極的に取り組んでいます。

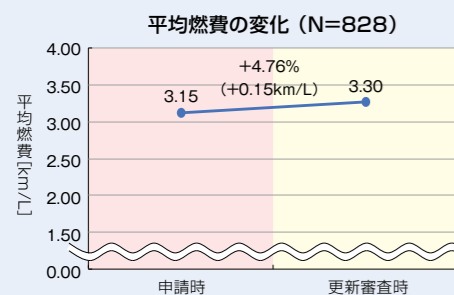
それから、タクシーに乗車したお客様に交通エコロジー・モビリティ財団からいただいたティッシュをお配りしているのですが、お客様とのコミュニケーションの上でもいい影響を生んでいるようです。



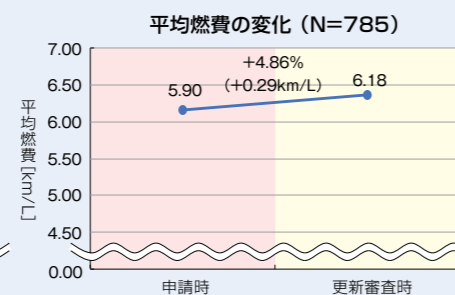
●飛鳥交通千葉株式会社
池上氏

トラック、バス、タクシーの平均燃費比較(認証前後2年間)

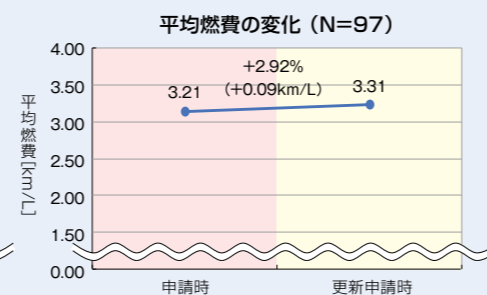
トラック、車両総重量8トン以上



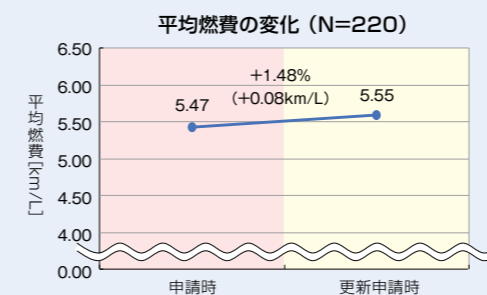
トラック、車両総重量8トン未満



バス



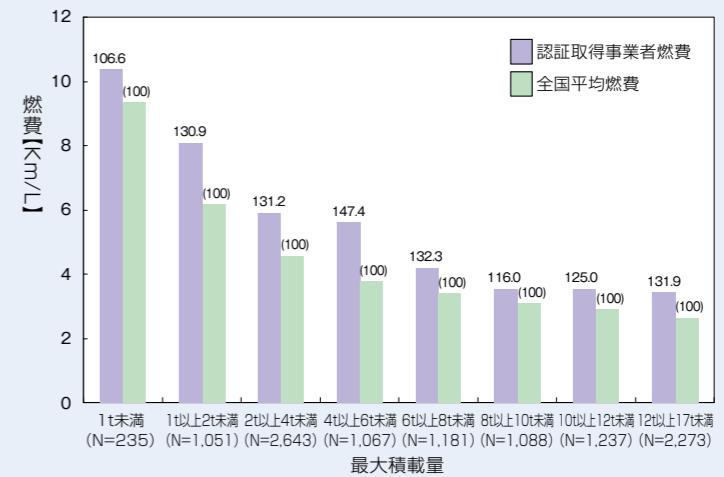
タクシー



●燃費が向上した背景

アンケートの自由記述式の回答には、「エコドライブの徹底」、「ドライバーの燃費に対する意識向上」、「デジタコの導入」、「燃費管理の徹底」、「エコドライブ講習の実施・参加」などに変化があったとの意見が多く見られました。こうしたことが、燃費の向上に結びついていると考えられます。

認証取得トラック事業者の平均燃費と全国平均との比較



トラックの認証取得事業者の平均燃費を全国平均と比較すると、全ての車種区分で全国平均よりも良く、全車種区分の加重平均の比較では全国平均より29.7%良い水準でした。



認証取得を成果に結び付けるには どんなことが大切ですか？

推進者のリーダーシップと 仕組みづくり

ドライバー一人ひとりの 意識を改革

中間管理職がリーダーシップをとり、しっかり関与するしくみが出来たことで、ドライバー一人ひとりの意識改革が全社に浸透し、成果につながったと思っています。

取得の目的を忘れず しっかり共有し続ける

取得の目的を明確にし、それを社内に共有した上で運用のチェックをしっかり行い継続していけば、成果が自然にでてくるとしています。

定期的に活動を評価する 従業員みんなの気持ちを一つに

担当社員の努力もありますが、乗務員にチェックリストを持たせ一カ月ごとにお客様からのフィードバックを含めて

報告させ、定期的に活動を評価していることが成果につながっているのではないかと思います。当初は事務作業も増え大変だと思っていましたが、従業員みんなの気持ちが整い、とてもいい制度だと思っています。

認証を、社内に取り組を浸透 させる道具にする

社員全員の意識合わせ

弊社は乗務員の数も多く全員に共通の認識を持たせることが難しかったのですが、制度の導入が全員の意識合わせのいいきっかけになったと思っています。

リーダーが強い気持ちで 推進することが大切

リーダーとなる人が強い気持ちを持って、日々取り組んでいくことが大切だと思います。その流れをうまく構築できないと成果は生まれにくいと思います。

やれば必ず効果があるはず 評価の視点を明確にする

グリーン経営は取り組むことを重視した制度です。数値的に表れなくても、社員の意識が変化し環境や経営の改善に結びつくといった成果につながることがきっとあるはず。トップの関与や現場の関わりも大きいと思います。



トラックのCO₂排出量の変化

倉庫・港湾運送のCO₂排出原単位の変化

■トラック車両総重量8トン以上

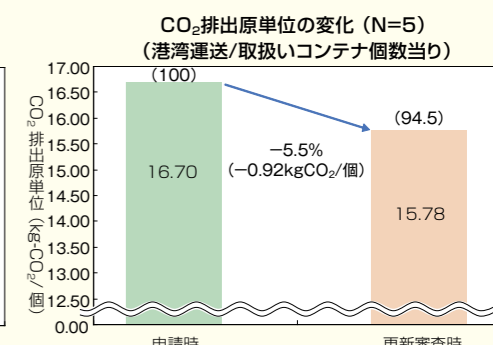
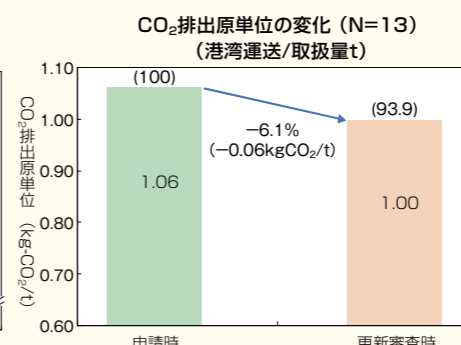
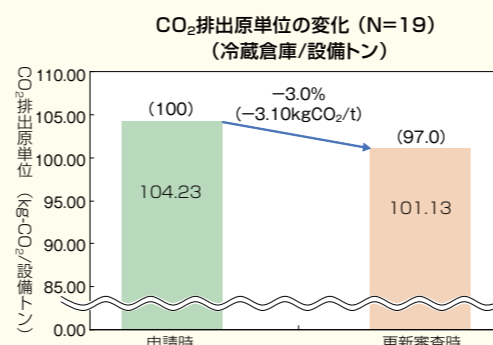
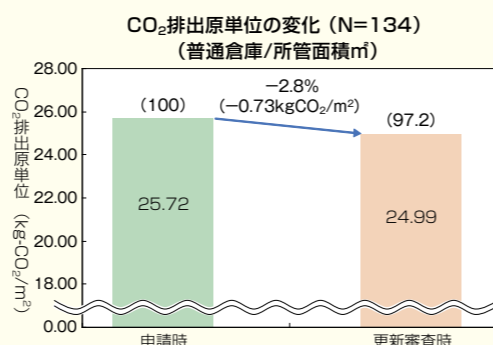
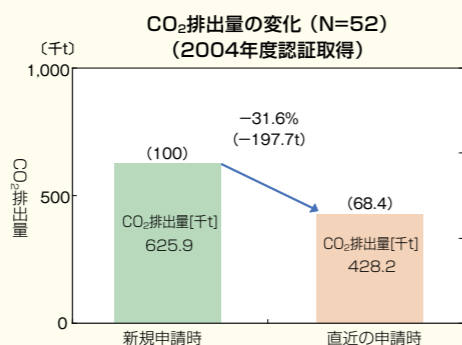
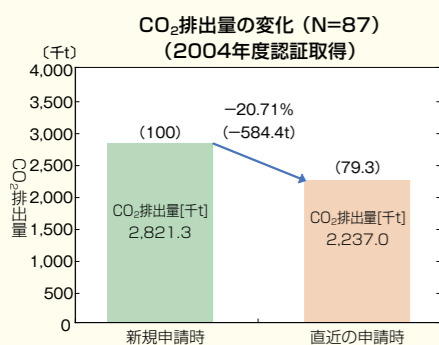
■トラック車両総重量8トン未満

■普通倉庫(所管面積当り)

■冷蔵倉庫(設備トン当り)

■港湾運送(取扱量(t)当り)

■港湾運送(取扱コンテナ(個数)当り)



●CO₂排出量や排出原単位はいずれも良くなり、エネルギー効率が向上しました。

これから認証取得する事業者への メッセージをお願いいたします



結城運輸倉庫株式会社

結城氏

環境だけにとどまらず、付随した効果はたくさん出てきますので、会社を良くするツールとしてご活用いただければと思います。

結城運輸倉庫株式会社(トラック運送事業)

従業員：294名
グリーン経営認証登録：平成18年5月19日 T120055 船橋支店五井営業所 千葉県市原市出津西1-1-43
その他6件11事業所

車両台数：186台



株式会社ハーツ

山口氏

個人個人、一人ひとりの意識の向上が会社の運営につながり、それが社会につながると思います。そのための道具として認証の導入はとても有効だと思います。

株式会社ハーツ(トラック運送事業)

従業員：14名
グリーン経営認証登録：平成20年8月20日 T130216 本社 東京都品川区南大井5-12-3
車両台数：12台



丸天運送株式会社

田中氏

一言でいうと意識改革です。グリーン経営を通じて社内の意識改革に取り組まれるといいと思います。

丸天運送株式会社(トラック運送事業、倉庫事業)

従業員：120名
グリーン経営認証登録：平成18年5月19日 T110042 春日部営業所 埼玉県春日部市浜川戸2-16 その他1件2事業所
グループ会社でトラック1件1事業所、倉庫2件2事業所

車両台数：40台(丸天運送のみ)

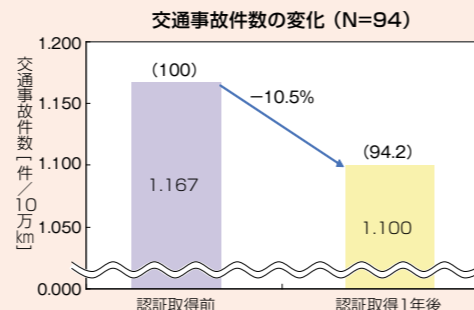
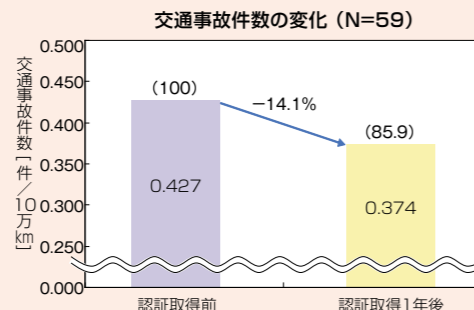
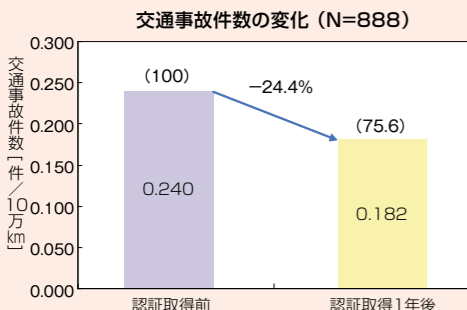
※従業員人数及び車両台数は更新審査申請時のもの

交通事故発生件数の変化

■トラック

■バス

■タクシー



● 交通事故件数が減少した背景

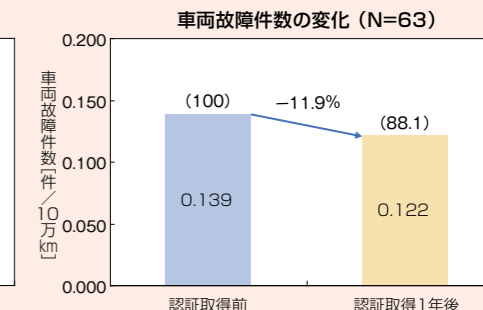
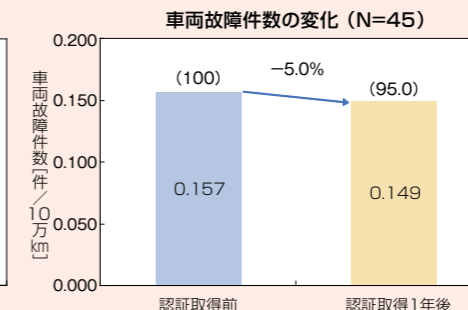
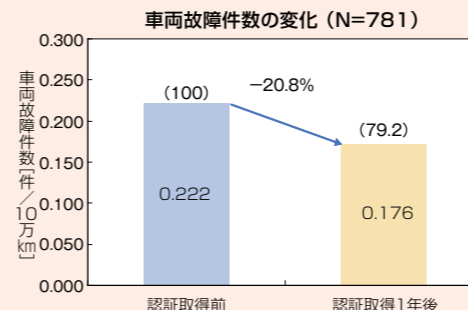
アンケートの自由記述式の回答には、「エコドライブの徹底」、「ドライバーの意識の変化」、「スピード管理」、「安全教育の実施」などに変化があったとの意見が多く見られました。こうしたことが、交通事故件数の減少に結びついていると考えられます。

車両故障件数の変化

■トラック

■バス

■タクシー



● 車両故障件数が減少した背景

アンケートの自由記述式の回答には、「グリーン経営の活動を通じて、整備意識が向上し、点検・整備の徹底がはかられた」、「エコドライブの徹底により車両に負担をかける運転をしなくなった」、「異常の早期発見」などに変化があったとの意見が多く見られました。こうしたことが、車両故障件数の減少に結びついていると考えられます。